



# 風の子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.21

令和3年2月24日



## これぞ本物の味。オール木浦の笹ずし

フリー参観日の2月12日午後、多くの保護者も参加して、笹ずし作りを体験しました。

材料の全てが木浦産。一つ一つの具は、この地に根を張り、日の光を浴び、清らかな水や空気に包まれて育った木浦の恵みです。更に、それらを育て、採り、調理した地域の人々や子供たちの思いが込められています。この笹ずしをいただいたとき、これこそ本物の味、真のおいしさとはこれだ！という衝撃を感じました。地域の人たちにとっては、幼少期からなじんできたふるさとの味です。

どの具も一つ一つは地味なものばかり。町のファミリーレストランに並んでいたとしても、子供たちは見向きもしないでしょう。しかし、産地やそこに住む人々の暮らしなどの背景を知っている人にとっては、非常に価値がある「ごちそう」です。

子供たちは、これまでの地域学習を通して、ふるさと木浦の魅力や味覚、文化を体験し、その価値を心の中に植え付けているところです。これからも様々な地で数々の経験を積み重ねて大人になり、ふるさとの幸を味わったとき、確かに育った郷土愛を実感することでしよう。この世代間のサイクルをつなぎ続けたいと思います。



木浦づくしの笹ずし



## 学校・地域交流会 輪投げと学習発表で地域の方々と交流

2月16日、地域の方33人が来校し、公民館主催の「学校・地域交流会」をしました。前半は、子供2チーム、地域7チームによる輪投げ大会。輪が入る度に、敵味方なく拍手が起こり、和やかな雰囲気です。試合が進んでいきます。試合をしていない子供たちは、率先して投げ終わった輪を拾い集めていました。いずれも心温まる光景でした。

後半は、子供たちの学習発表を見ていただきました。まず、全校で練習に励んできた長縄跳びと、朝学習で暗記した「学問のすゝめ」を披露しました。次に、学級ごとに歌やダンス、地域学習の成果を発表しました。



## 年長児と交流 2月18日 1・2年

1・2年生は、「ばくだんゲーム」「おみせやさんごっこ」「生活科つり」の3つを用意して、木浦保育園を訪問し年長児と交流しました。2年生は、「(年長さんは)ちょっと成長したみたい」とお姉さん目線の感想。1年生は、成長した姿を見せようと張り切っていました。

「みんなよろこんでいました。小学校にきたら、なんでもおしえてあげたいです。また、なかよくしたいです。」



## 高齢者疑似体験 2月16日 3・4年

3・4年生は、社会福祉教育の一環として高齢者疑似体験をしました。手足の動きを制限する装具やゴーグルを付け、廊下や階段を歩いてみました。

「首や足がつかった。白とオレンジが目立っていた。おばあちゃんをサポートしたい。」

「色が違って見えた。足を伸ばすより曲げる方が楽だった。お年寄りを見守るようにしたい。」



## 中学校入学説明会 2月3日 6年

6年生は、能生中学校で他の4小学校の6年生と共に体験授業をしました。中学校の教諭による数学では、小学校では扱わない「負(マイナス)の数」で、他校の児童と意見交換しながら考えました。

「能生小や南小の友達とあいさつや会話をすすんでできた。」  
「みんなの前で意見をたくさん言うことを頑張った。」

6年生は、あと1月余りで中学生になります。